

平成24年度事業報告書

24年 4月 1日から25年 3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

1 事業の成果

当会の活動は、遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）を拠点に、多世代、広範囲に広がってきている。遠賀川水辺館における来館者数は、27,885名になり、体験学習の参加団体は、小学校や子ども会など130団体を受け入れ、学習ビオトープ春の小川を活用した水生生物調査や、遠賀川でのカヌー体験、釣り体験などを実施した。

また、次世代を担う子ども達の活動拠点として遠賀川水辺館を活用し、当会による活動支援体制や、地域・行政との連携もスムーズになってきている。平成24年度3月は遠賀川水辺館の来場者数が29万人を迎えた。

秋には、遠賀川水辺館前の遠賀川に帰ってきました。元気よく泳ぐ鮭の姿は、私たち活動メンバーの一生の思い出となりました。

- 遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営
 - ・施設見学、環境教育、体験学習（総合学習の対応）
 - ・水辺館カヌースクール
 - ・水辺の生き物しらべ
 - ・遠賀川釣り体験
 - ・水辺館リバーツーリズム
- 次世代の活動支援（地域との連携）
 - ・キッズLNC…6歳未満の子ども達と保護者
 - ・めだかの学校…小学生を中心に、中学生
 - ・YNHC（青少年博物学会）…中学生と高校生
 - ・JOC…大学生
 - ・おやじの会
- まちづくり・環境保全の取り組み
 - ・壁面緑化や花壇づくり
 - ・春の小川まつり（河川清掃）
 - ・中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理
 - ・直方市環境カレンダーの作成
 - ・リバーチャレンジスクール

■遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営

◆施設見学、体験学習（総合学習の対応）

市内はもとより近隣の中間や田川、行橋からも多くの小中学生が来館し、様々な体験活動に参加した。また全国各地や、韓国からの施設見学、交流の回数も増加している。

◆水辺館カヌースクール

遠賀川水辺館周辺の遠賀川・彦山川を活用してのカヌースクールは、地域の定着しつつあり、直方市外からの参加が多く見られた。また、小学4年生以上の幅広い世代を対象にしているが、大人の参加が多く見られた。

◆水辺の生き物しらべ

学習ビオトープ「春の小川」を活かして、水生昆虫や、甲殻類、メダカなどの魚を採集する人気の活動である。小学校の総合学習や、1、2年生生活科、4年生理科などの教科に対応した活動を提供するだけでなく、夏休み向けイベントも好評であった。ビオトープの多様性も増し、多くの生物が見られるようになった。

◆遠賀川釣り体験

デポジット制による釣り具の貸出を、水辺館の開館時に常時行った。遠賀川を身近に感じてもらい取り組みの一つとして、参加費は無料。夏から秋にかけての休日は50本の釣り竿が足らなくなるようなこともあった。

◆水辺館リバーツーリズム

遠賀川水辺館を拠点にして、川が育んだ自然や歴史、文化、まちづくりを学んだ。今年度は予算削減のために、ウォーキングや公共共通期間の利用を積極的に行った。防災という視点も取り入れ、神頼みの治水と現在の治水を比較する古今についても学び、地域の減災意識の向上につげることができた。

■次世代の活動支援（地域との連携）

◆キッズLNC

6歳未満の子ども達と、保護者を対象にして、水辺館 周辺の自然を活かした体験活動を行っている。毎月第1木曜日に実施。34組90名の親子が登録。

◆めだかの学校

「だ〜れが生徒か先生か♪」を合い言葉に自然を先生にして、春の小川の生き物と、生態系の係わりについて調べるかえる教室、遠賀川水辺館周辺の野鳥の生態や生息数を調べる「すずめ教室」、水質やタイコウチという昆虫に特化して調べる「遠賀川生き物調査隊」開校した。のべ80名の子ども達が登録。

◆YNHC（青少年博物学会）

中学生と高校生が学校の垣根を越え、情報交換ネットワークづくりや、環境調査やイベントのサポート、定期的な河川清掃に取り組んでいる。また、活動報告書YNHC通信の発行も行っている。この活動の輪が、地域や学校に認知されつつあり、中高生にも

浸透してきている。

◆JOC（大学生の災害支援ネットワーク）

9月に九州内の大学生のネットワーク構築を目指し、九州内の水資源利用、治水、自然環境に対する認識を深めるためにオープンカレッジを2泊3日で開催。

◆おやじの会

福智山ろくの荒廃した里山に、子ども達が遊べる森づくりを行った。拠点となる小屋づくりや、どんぐりの苗木を育て、植樹等の活動を行っている。また資金作りのためバザーなども実施。

■まちづくり・環境保全の取り組み

◆壁面緑化や花壇づくり

遠賀川水辺館のゴーヤによる壁面緑化に取り組み、地球温暖化防止への節電に取り組んだ。400本以上のゴーヤが収穫出来たほか、多様な昆虫の生態系も生まれ大変好評であった。

◆春の小川まつり（河川清掃）

遠賀川水辺館周辺と中の島公園の、ゴミ拾いと草取りを毎月最終日曜日に実施した。遠賀川水辺館の周辺はゴミが無くなりつつあるにもかかわらず、少し離れた駐車場には大量のゴミが落ちている状況にある。今後も継続して活動していきたい。

◆中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理

遠賀川水辺館周辺から、春の小川ビオトープがある「中之島公園」における、除草作業および環境整備を行った。除草に於いても、ただの草刈りではなく、絶滅危惧種の植物や、昆虫類の成長に応じた選択除去を行っている。また除草作業は、市民ボランティアを含む多くの人達で行っている。

◆直方市環境カレンダーの作成

直方市の地球温暖化防止対策の一環として、楽しく記録ができる環境家計簿（環境カレンダー）の製作を受託。子ども達が風景や野鳥、水生生物、野草を描いた絵を活かした。

◆リバーチャレンジスクールの開催協力

子ども達に、遠賀川や自然をより身近に体験させるために直方川づくり交流会が中心となって、直方市や国土交通省を巻き込んで、体験活動を実施している。

平成24年度事業報告書

24年4月1日から25年 3月31日まで

特定非営利活動法人直方川づくりの会

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (千円)
① 環境 保全に 関する 情報の 収集及 び提供 に関する 事業	遠賀川防災施設（遠賀川水 辺館）管理委託	通年	遠賀川 水辺館	のべ 1000 人	直方市内福 岡県内外の 幅広い年齢 層の住民来 者 27,885 人	1420
	遠賀川水辺館利用者の質的 満足度向上のための提供行 為業務（リバーサイドテラ ス）	通年	遠賀川 水辺館	のべ 100 人	直方市内福 岡県内外の 幅広い年齢 層の住民	
	遠賀川地域防災施設河川情 報提供	2012/4 ～ 2013/3	遠賀川 水辺館	のべ 50 人	直方市内福 岡県内外の 幅広い年齢 層の住民 のべ 500 人	
	リバーツーリズム	通年	福岡県 内外	の べ 30 人	直方市内外 の のべ 100 人	
② 環境 保全に 関する 企画・運 営事業	春の小川まつり（河川清掃）	通年	遠賀川 河川敷	のべ 400 人	直方市内福 岡県内外の 幅広い年齢 層の住民	405
	花壇再生プロジェクト	通年		の べ 200 人	直方市内福 岡県内外の 幅広い年齢 層の住民	

③ 環境保全に関する教育の実施に関する事業	水辺館カヌースクール運営	2012/7 ～ 2012/10	遠賀川 水辺館 周辺	のべ 100人	直方市内外 のべ200名	1367
	伝統文化（子ども教室）	2012/6 ～ 2013/2	遠賀川 水辺館	のべ 20人		
	キッズLNC めだかの学校 YNHC	通年	遠賀川 水辺館 及び周 辺	のべ 100人		
	遠賀川ユースリーダー		九州市 内	のべ 10人		
④ 環境保全に関する計画の策定に関する事業	直方市環境家計簿作成業務	2012/7 ～ 2012/9	遠賀川 水辺館	のべ 50人	直方市内外 の住民 100家族	180
	その他団体の活動策定支援	通年	福岡県 内	のべ 60人	福岡県内	
⑤ 国、自治体、他団体が主催する環境保全に関する各種催しへの協力	リバーチャレンジスクール （直方川づくり交流会）	通年	遠賀川 水辺館	のべ 200人	直方市内の 子ども達 200人	2222
	遠賀川流域中高生等活動交流会、ホテル飼育などの活動支援（YNHC）	通年	遠賀川 水辺館	のべ 100人	遠賀川流域 の中高生の べ600人	
	オープンカレッジの活動支援（JOC）	通年	福岡県 内外		九州各地の 大学生	
	その他団体への協力	通年	直方市 内		直方市、福岡 市内外の幅 広い年齢層 の住民	

平成24年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目	金額	備考
I. 経常収入の部		
1 会費収入		
1) 1)	16,000	
2 事業収入		
遠賀川水辺館管理業務	2,220,000	
春の小川を活用した河川愛護意識啓発と理解度の関する調査24	2,950,500	
春の小川を活用した河川愛護意識啓発と理解度の関する調査23	3,748,225	
中之島公園管理業務委託	420,000	
直方市環境家計簿作成業務	180,000	
助成金	1,774,073	
参加費	104,000	
受取利息	679	
雑収入	13,406	
経常収入合計	11,426,883	
II. 経常支出の部		
1 事業費		
①環境保全に関する情報の収集及び提供	1,420,500	
②環境保全に関する企画・運営	405,458	
③環境保全に関する教育の実施	1,367,080	
④環境保全に関する計画の策定	180,000	
⑤自治体・他団体の催し物への協力	2,222,500	
2 管理費		
旅費交通費	436,410	
通信運搬費	257,625	
地代家賃	425,000	
福利厚生費	5,800	
消耗品費	808,909	
備品費	154,780	
賃借料	447,500	
会費	7,000	
研修費	49,000	
雑費	273,285	
保険料	68,163	
租税公課	80,400	
経常支出合計	8,609,410	
当期収支差額	2,817,473	
前期繰越収支差額	(2,614,613)	
次期繰越収支差額	202,860	

平成24年度「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表

平成25年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目・摘要	金額	
I. 資産の部		
1 流動資産		
現金	96,450	
普通預金	106,360	
未収入金	185,000	
流動資産合計		387,810
2 固定資産		
什器備品		
固定資産合計		0
資産合計		387,810
II. 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	185,000	
未払金		
流動負債合計		185,000
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		185,000
III. 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産		△ 2,614,613
2 当期正味財産増加額		2,817,423
正味財産合計		202,810
負債及び正味財産合計		387,810

平成24年度「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録

平成25年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	96,450		
西日本シティ銀行	106,360		
未収入金	185,000		
流動資産合計		387,810	
2 固定資産			
什器備品			
固定資産合計		0	
資産合計			387,810
II. 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	185,000		
未払金			
流動負債合計		185,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			185,000
正味財産合計			202,810